

報道関係者各位

2026 年 10 月 9 日

ミガロホールディングス株式会社

**【開催レポート】国山 ハセン氏、並河 進氏が登壇
「AI 時代の投資リテラシー」セミナー
～アンケート回答者全員が、投資における「AI との向き合い方が変わった」と回答～**

「デジタル」と「リアル」の融合で新たな価値を創造する企業、ミガロホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：中西 聖、証券コード：5535、以下「ミガロ HD」）のグループ会社プロパティエージェント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：中西 聖、以下「プロパティエージェント」）は、2026 年 10 月 2 日（金）にオンラインセミナー『“投資の日”を前に学ぶ「AI 時代の投資リテラシー」セミナー ～AI のいいなり投資にならないために～』を開催しました。



FOX UNION 代表／元 TBS アナウンサーの国山 ハセン氏、dentsu Japan でチーフ・AI・オフィサーを務める並河 進氏を講師に迎え、生成 AI の回答を鵜呑みにする“AI のいいなり投資”からの脱却をテーマに、AI を賢く活用しながら自分の頭で投資を判断するための視点をお伝えしました。

終了後のアンケートでは、回答者全員が投資における AI との向き合い方（AI の回答を鵜呑みにせず、確認してから判断する意識）が「変わった」と回答しました。

※セミナー終了後アンケート（参加者 20 名中 19 名が回答、回収率 95%）

■開催の背景

プロパティエージェントが 2026 年 7 月に実施した「【投資経験者 545 名に調査】“AI のいいなり投資”が顕在化。AI を参考に投資する人の 6 割が「AI の回答だけで投資を実行」、うち 8 割超が損失・後悔」

では、投資判断の際に参考にしたことがある情報源として「生成 AI（ChatGPT・Gemini 等）」を挙げた人が 32.8%に達し、約 3 人に 1 人が AI に投資の相談をする時代になっていることが明らかになりました。20 代（94 名）に絞ると生成 AI は 46.8%で、「証券会社・銀行・FP などの専門家」（37.2%）を上回り 1 位となっています。

一方、投資判断で生成 AI を参考にする人のうち、「AI の回答だけを根拠に、自分で十分に確認せず投資をしたことがある」人（111 名）では 85.6%が損失・後悔を経験しているのに対し、そうしたことがない人（68 名）では 19.1%にとどまりました。その差は約 4.5 倍。AI を使うこと自体ではなく、「確認を挟むかどうか」が結果を分けていることを示すデータです。



AI の回答を確かめ、最終的な判断は自分自身で行うことが欠かせません。一方で、情報があふれる時代に、一人で確かめ続け、判断し続けるのは容易ではありません。プロパティエージェントは 7 月の調査発表でも、“未来をともに考え、自分に合った判断を支えてくれる参謀のような存在”の重要性に言及しました。こうした状況を受け、本セミナーでは「AI のいいなり投資からの脱却」をテーマに掲げ、投資初心者から経験者まで幅広い層に向けて、AI を賢く活用しながら自分の頭で投資を判断するための考え方を学ぶプログラムを実施しました。

■実施プログラム

1. “AI のいいなり投資”の実態について
2. 投資における“最適な AI との向き合い方”とは？
3. ワークショップ：AI の答え、私はこう確かめる
4. 総括・閉会

■当日の様子

第一部では、前述の調査の結果をもとに“AI のいいなり投資”の実態を共有。これを受け、国山ハセン氏、並河進氏からは、AI の回答を優先してしまうことや、専門外の領域ほど鵜呑みにしやすいことが課題として挙げられました。



第二部では、国山氏と並河氏によるモデレーターとの対談形式で、投資における“最適な AI との向き合い方”を取り上げました。会場への問いかけでは、投資の情報収集で AI を使ったことがある参加者は半数ほど。国山氏は、投資家としてのご自身のポートフォリオや、SNS・動画・専門家・AI といった情報源の使い分け、AI の活用ルールや投資での失敗経験を、並河氏は AI を使う際のリスクと回答の確かめ方を、それぞれの経験に基づいて解説し、会場は真剣な空気に包まれました。

さらに、参加者から事前に寄せられた質問にも回答。「AI 時代にファイナンシャルプランナーや不動産エージェントへ相談する意義」や「AI の精度が上がっても、投資判断において人にしかできないこと」について、お二人の考えが語られ、AI をセカンドオピニオンとして活用しつつ、AI だけでは得にくい個別の情報や体系的な知見は専門家に相談するという、使い分けのヒントも示されました。



第三部では、ワークショップ「AI の答え、私はこう確かめる」を実施。AI が提案した資産形成のポートフォリオ（Before）を出発点に、参加者それぞれが追加の質問を重ねて AI の回答を確かめながら、自分なりのポートフォリオ（After）と「AI 依存度」を見直しました。

発表では、「AI に 3 パターンの提案を出させて自分で選び、AI 依存度は約 50%になった」という声上がる一方、「まだ不明点が多いので、じっくり考えたい」という慎重な声もあり、AI の答えを確かめながら、自分の判断に近づけていく様子が見られました。

実践型のセッションを通じて、参加者それぞれが“AI の答えを確かめる力”を体感する時間となりました。



■参加者の声

当日は投資未経験の方から経験者まで幅広い層が参加し、アンケート回答者 19 名中 17 名が『非常に

満足』（13 名）または『やや満足』（4 名）と回答。AI との向き合い方についても、回答者全員が「変わった」と回答しました。参加者からは次のような声が寄せられました。

- ・「情報を集めるために AI を活用し、最終的な判断は自分で行うことも意識したいと思います」
- ・「機械的に可能な部分は AI を積極的に活用し、その他の部分は壁打ちとして活用していきたいと思います」
- ・「複数案提示させるプロンプトは今後活用していきたい」

※自由回答より抜粋（表記は原文のまま）

■登壇者コメント

【国山 ハセン氏】

「AI を本当に使いこなしている人は、まだまだ少ないと思います。今日をきっかけに、AI の進歩や何が変わったのかを学び、実際に自分で触ってしながら、ぜひ資産運用に活かしていきましょう」

【並河 進氏】

「AI は、リサーチなど便利な部分にはどんどん使っていただき、人が主導権を持ちながら、人と AI が一緒になって投資の学びを高めていただけたらと思います」



最終的な判断は、自分自身で行う。AI は思考を補助する存在として活用しつつ、AI だけでは得にくい個別の情報や、自分の状況に合わせた判断については、専門家に相談する。プロパティエージェントは今後も、お客様一人ひとりの未来をともに考え、自分に合った判断を支える“参謀”のような存在でありたいと考えています。

【プロパティエージェント株式会社 会社概要】

所在地：東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー41 階

代表者：代表取締役社長 中西 聖

設立：2004 年 2 月 6 日

事業内容：DX 不動産事業、不動産クラウドファンディング事業、不動産開発販売事業およびプロパティマネジメント事業（賃貸管理サービス、建物管理サービス）

企業 HP：<https://www.propertyagent.co.jp/>

【ミガロホールディングス株式会社 会社概要】

所在地：東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー41 階

代表者：代表取締役社長 中西 聖

上場市場：東京証券取引所プライム市場

事業内容：グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務

会社 HP：<https://www.migalo.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

ミガロホールディングス株式会社 広報担当 Tel : 03-6302-3627

Mail : ir.info@migalo.co.jp